

第37回青森マスタース陸上競技選手権大会開催要項
(令和5年度 第16回あなたにフィット!スポレク推進事業)

- 1 主催 青森マスタース陸上競技連盟 (一財) 青森陸上競技協会
- 2 日時 2023年9月17日(日) 開会式: 9時00分, 競技開始: 9時50分
- 3 場所 弘前市運動公園陸上競技場
- 4 年齢区分 競技会当日の満年齢で、次の年齢区分とする。
〔男子〕 M-24(18~24歳 ただし高体連・学連登録者を除く) M25(25~29歳) M30(30~34歳)
M35(35~39歳) M40(40~44歳) M45(45~49歳) M50(50~54歳) M55(55~59歳)
M60(60~64歳) M65(65~69歳) M70(70~74歳) M75(75~79歳) M80(80~84歳)
M85(85~89歳) M90(90~94歳) M95(95~99歳) M100(100~104歳)
〔女子〕 W-24(18~24歳 ただし高体連・学連登録者を除く) W25(25~29歳) W30(30~34歳)
W35(35~39歳) W40(40~44歳) W45(45~49歳) W50(50~54歳) W55(55~59歳)
W60(60~64歳) W65(65~69歳) W70(70~74歳) W75(75~79歳) W80(80~84歳)
W85(85~89歳) W90(90~94歳) W95(95~99歳) W100(100~104歳)
- 5 種目
〔男女共通〕 60m、100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、
5000m、3000mW、80mH、100mH、110mH、
4×100mR (クラス別)、4×400mR (クラス別)
走高跳、走幅跳、三段跳、立五段跳、砲丸投、円盤投、やり投
※ 三段跳及び立五段跳については、踏切板から砂場までの距離、13m、11m、9m、7m、
5mとする。また、申込時に踏切板距離を事前に申告をすること。
なお踏切版の設備がない場合は、白線を引いて踏切板とする。なお、選手は自分の使用
する踏切板を競技開始前にも担当審判員に申告すること。
- 6 参加資格 (1) 2023年9月17日現在、満18歳以上の男女。
(2) 2023年度日本マスタース陸上競技連合と日本マスタース陸上競技連盟に登録
しているもの。
(3) 未登録者は、参加申込みと同時に登録料を納入すれば参加できる。登録料は、日
本マスタース陸上競技連合(1,500円)及び一般財団法人青森陸上競技協会登
録料(2,000円)を含め、年6,000円です。但し、今年度県陸協に選手
又は審判員として登録している場合は登録料5,000円とする。
(4) 本県以外の参加は、オープン参加とする。但し、記録は公認される。
- 7 参加制限 リレーを除き1人3種目以内に参加できる。ただしリレーのみの出場は認めない。
- 8 競技規則 (1) 2023年度(公財)日本陸上競技連盟規則及び(公社)日本マスタース陸上競
技連合規則と本大会競技注意事項による。
(2) 投てき競技の用具は、主催者が準備したものを使用する。
(3) 投てき競技の用具基準は、別表による。

- (4) トラック競技は全種目タイムレースとし、フィールド競技における試技は各3回とする。
- (5) 参加者は、リレーを除き1人3種目まで出場できる。ただし、リレーのみの出場は認めない。

9 表 彰 各クラス、各種目1位から3位までに賞状を授与する。

10 申込締切 2023年7月30日(日) 必着で申し込むこと。

11 申込方法 大会申込書に、氏名(漢字とフリガナ)/性別/9月17日現在年齢/西暦生年月日/種目(最大3種目)/郵便番号/住所/電話番号、を記入し、参加料(未登録者は登録料添え)を下記ゆうちょ銀行口座へ振り込むこと。または、マスターズ公式LINE、もしくはインスタグラムのDMにて申し込むこともできる。その場合は上記に加え、メールアドレスを記載すること。後日確認のメールを返信します。返信メールが届いたら参加料を1週間以内に下記口座に入金して申込完了となる。

※ 振込先口座 ゆうちょ銀行 ・口座記号番号： 02260-3-125867
・加入者名： 青森マスターズ陸上競技連盟

12 参加料 1種目は2,000円・2種目は3,000円・3種目は4,000円(保険料を含む)(リレーの参加料は不要)

13 保険について 青森マスターズ陸上競技連盟において傷害保険に加入する。

14 その他(1) 大会中に発生した傷害及び物損事故等に関しては、保険の補償範囲を超えた責任は一切負わないことを承認のうえ参加すること。

(2) アスリートビブス及びプログラムは、当日会場受付にて配布する。

(3) 雨天決行(台風暴風雨等の時は中止)

中止の際、前日22時に公式LINE、インスタグラムに通知する。

(4) 多種目同時出場について

競技規則第142条3

競技者が、同時にトラック競技とフィールド競技あるいは2種目以上のフィールド競技に参加する場合には、審判長は1ラウンドに一度、走高跳および棒高跳で各試技に一度、競技会に先立って決めた順序によらないで、その試技を許すことができる。もし競技者がその後の特定の試技に不在の時、その試技時間が過ぎれば、パス扱いとなる。

[注意] 審判長は、フィールド競技の最終ラウンドで異なる順序で試技を行うことを認めてはならないが、それ以前のラウンドでは認めることができる。混成競技ではどのラウンドでも異なる順序で試技を行うことを認めることができる。

[国内] 走高跳および棒高跳においては、事前に申告し無効試技扱いとすることができる。

【ハードル競技基準】 競技におけるクラス別種目の基準は下記の通りとする

	クラス	種目	高さ	ハードル台数	第1ハードルまで	間隔	フィニッシュまで
ス	M-24~M45	110m	99.1cm	10	13.72m	9.14m	14.02m
	M50・M55	100m	91.4cm	10	13.00m	8.50m	10.50m
プ	M60・M65	100m	84.0cm	10	12.00m	8.00m	16.00m
	M70・M75	80m	76.2cm	8	12.00m	7.00m	19.00m
リ	M80以上	80m	68.6cm	8	12.00m	7.00m	19.00m
	W-24~W35	100m	84.0cm	10	13.00m	8.50m	10.50m
ン	W40・W45	80m	76.2cm	8	12.00m	8.00m	12.00m
	W50・W55	80m	76.2cm	8	12.00m	7.00m	19.00m
ト	W60以上	80m	68.6cm	8	12.00m	7.00m	19.00m

※ 高さ 0.686m のハードルについては 0.700m のハードルを代用してもよい。

【別表】 ※ 各投てき競技におけるクラス別用具の最小重量基準は下記の通りとする。

	競技クラス	砲丸	円盤	やり
男子	M-24~M45	7.26kg	2.0kg	800g
	M50・M55	6.00kg	1.5kg	700g
	M60・M65	5.00kg	1.0kg	600g
	M70・M75	4.00kg	1.0kg	500g
	M80以上	3.00kg	1.0kg	400g
女子	W-24~W45	4.00kg	1.0kg	600g
	W50~W70	3.00kg	1.0kg	500g
	W75以上	2.00kg	0.75kg	400g